

(秋の交通安全祈願祭・町民大会祝辞：R07・9・22)

改めまして、お晩でございます。

秋の交通安全祈願祭、町民大会に参加をいただき大変ご苦労様です。日頃から交通安全運動の推進にご尽力を頂いておりますことにつきまして、感謝の気持ちを込めて敬意を表します。

最近、大型車が自転車を巻き込む事故や交差点での事故等で高齢者や子供達が犠牲となるニュースや高速道路の逆進、飲酒運転、無免許運転での事故のニュースもありましたし、ブレーキ、アクセルの踏み間違いでの事故も多く、あらためて無理をせず、安全運転を心がけなければとの思いを強くしております。

国道を横断するキツネやシカに加えて熊が出没する町内のニュースも多く、早朝、夜間の運転には特に注意していただきたいと思います。

北海道の交通事故件数は去年より減少していますが、交通事故死者数が上回る状況で心配しております。

道路網の整備等、安全を重視したいろいろな取組み、地道に続けてきた交通安全啓発運動の成果で、一時からみますと大幅に交通事故が減少しておりますが、新聞、テレビでは毎日のように、交通事故死が報道されております。飲酒、居眠り運転、暴走運転による事故等、依然として犠牲となるのは、交通弱者である子供たちや高齢者が多く、特に子供たちの事故は、大きな悲しみとして影響も大きく、私たち大人が守ってあげなければなりません。

運転する方が交通安全の意識をしっかり持たなければならない事は第一ですが、町民が一丸となって本日のような運動を積み重ねていく事が、交通安全運動の推進に大切な事だと思います。ご出席の皆様には、引き続きご尽力下さいますようお願いをいたします。

皆様のご健勝と、事故、事故死がおきませんよう心からご祈念いたしまして、措辞ですが挨拶といたします。